

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-161	16-001	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
題名 (原題/訳)		
Spatial analysis of the association of alcohol outlets and alcohol-related pedestrian/bicyclist injuries in New York City. アルコールアウトレットとアルコール関連の歩行者/自転車外傷との関連についての空間解析		
執筆者		
DiMaggio C, Mooney S, Frangos S, Wall S.		
掲載誌		
Inj Epidemiol. 2016 Dec;3(1):11.		
キーワード		PMID
外傷、空間解析		27747548
要 旨		
目的：		
<p>歩行者/自転車外傷は重要な公衆衛生の課題である。小売り環境、特にアルコールアウトレットの存在がこれら外傷のリスクと関連する可能性があるが、十分検討されていない。</p>		
方法：		
<p>本研究ではニューヨーク市の国勢調査区レベルにおける最近 10 年間のアルコール関連歩行者外傷の空間リスクを定量化した。解析には統合 Nested Laplace 近似によるベイズ階層化空間回帰モデルを用いた。ローカルリスクを計測し、調査区におけるアルコールアウトレットの存在とアルコール関連歩行者/自転車外傷との関連を、社会経済要因や交通要因を調整して評価した。</p>		
結果：		
<p>共変量を 0 に保持し、ランダム及び空間変動を調整した場合、調査区における少なくとも一つのアルコールアウトレットの存在は、車による歩行者/自転車外傷のリスクを 47%増加させた</p>		
結論：		
<p>都市部の国勢調査地区における 1 つ以上のアルコールアウトレットの存在は自転車/歩行者の外傷リスクを増加させる。アルコールによるリスク増加地区の同定は、アルコール関連歩行者/自転車外傷の予防のためのターゲットを決めた介入を可能にする。</p>		